

検査ニュース

Vol.6 No.8

ご挨拶

平素より佐賀県健康づくり財団 佐賀県健診・検査センターの業務にご協力及びご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

今回は、「TSAT（トランスフェリン飽和度）」、「尿中 $\beta 2$ マイクログロブリン/尿中クレアチニン比」の報告についてご案内致します。（報告開始日 R5 年 2 月 1 日受付分より）

佐賀県健康づくり財団
佐賀県健診・検査センター
専務理事 枝 國 源 一 郎

■TSAT（トランスフェリン飽和度）

項目コード No	検査項目	検査材料	測定方法	単位	備考
85	TSAT	血清	血清鉄 (Fe)、TIBC (Fe+UIBC) より算出	%	TSAT=Fe/TIBC×100 目安 20～30%

鉄は血液の中ではトランスフェリンというたんぱく質に結合し、運ばれています。このトランスフェリンの量が総鉄結合能 (TIBC)、そのうち、鉄が結合していないトランスフェリンの量が不飽和鉄結合能 (UIBC) です。総鉄結合能のうち、鉄が結合している割合を TSAT(トランスフェリン飽和度) と呼び、TSAT とフェリチンから鉄の過不足が判断されます。目安は 20～30%とされています。

■尿中 $\beta 2$ マイクログロブリン/尿中クレアチニン比 (U- $\beta 2$ m/U-CRE)

項目コード No	検査項目	検査材料	測定方法	単位	備考
285	U- $\beta 2$ m/U-CRE 比	尿	尿中 $\beta 2$ m、尿 中 CRE より算出	μ g/mg Cr	U- $\beta 2$ m/U-CRE 比 = U- $\beta 2$ m ÷ U-CRE ÷ 10

検尿の最大の目的は腎疾患の早期発見であり、学校検尿は慢性腎炎を早期発見し、早期治療するために重要です。1 次・2 次検尿では、尿蛋白・潜血・尿糖の定性検査を行い、さらに 3 次精密検診があります。小児腎臓病検診における専門医への紹介基準の中に、「尿中 $\beta 2$ マイクログロブリン/尿中クレアチニン比」があります。ご依頼を頂いた場合に「尿中 $\beta 2$ m/尿中 CRE 比」が報告可能となりました。

(参考)学校検尿のすべて (令和 2 年度改訂) [日本学校保健会]

URL <https://www.gakkohoken.jp/books/archives/244>

【依頼方法】総合依頼書の連絡事項欄に「TSAT」、「U- $\beta 2$ m/U-CRE 比」と

ご記入ください。

※『ユーザーセット』でのご依頼をお勧めいたします。(ユーザーセット登録につきましては、臨床検査
渉外課までお問合せください。)

※TSATはレセプト請求では血清鉄(11点)、UIBC(11点)でご請求ください。

※U- $\beta 2$ m/U-CRE 比はレセプト請求では尿中 $\beta 2$ マイクログロブリン(101点)と尿中クレアチニン(11
点)でご請求ください。